

ISO/IEC 646 は、7 ビットの文字コードの国際規格です。アメリカの ASCII や日本の JIS X 0201、また各国の類似の文字コード規格と関係があります。

この規格の規定内容のうち、「国際基準版」(International Reference Version) はアメリカの ASCII と同等の文字コードです。

この規格は ASCII と同等の符号表のうちの 12 の符号位置について、各国の裁量で文字を割り当てられるようになっています。これに従って各国の国内規格が作成されています。日本の JIS X 0201 はそうしたものの一つです。

### JIS X 0213 との関係

JIS X 0213 は ISO/IEC 646 国際基準版の全ての文字を含んでいます。なお、JIS X 0213 のサブセットである JIS X 0208 は下記の 4 文字を含んでいません。

| 符号位置 | 16 進 | 文字名            |
|------|------|----------------|
| 2/2  | 22   | QUOTATION MARK |
| 2/7  | 27   | APOSTROPHE     |
| 2/13 | 2D   | HYPHEN-MINUS   |
| 7/14 | 7E   | TILDE          |

JIS X 0213 は、ISO/IEC 646 国際基準版とともに用いる符号化方式を複数定義しています。EUC-JIS-2004 や ISO-2022-JP-2004 もそれらの中に含まれます。

### その他の規格との関係

- ・ JIS X 0201 ラテン文字集合は ISO/IEC 646 の枠組みに則って定義されています。
- ・ ISO/IEC 646 の現在の版では各文字について ISO/IEC 10646 (あるいは Unicode) の文字に対応する文字名が記されています。
- ・ ISO/IEC 10646 および Unicode の U+0020 から U+007F は ISO/IEC 646 国際基準版と同一の文字の並びになっています。
- ・ ISO/IEC 2022 の枠組みの中で ISO/IEC 646 国際基準版を用いることができます。符号拡張法によって他の符号化文字集合と組み合わせることもできます。

### 関連項目

- ・ ASCII
- ・ JIS X 0201